



新光商事 株式
会社
Shinko Shoji Co., Ltd.

2026年3月期決算説明会資料

- 決算の概要
- 成長戦略
- 今期の見通しについて

2026年5月22日
代表取締役社長 小川 達哉

資料取り扱い上の注意

このプレゼンテーション資料で述べられている当社の将来に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。

あくまでも現時点での将来予想であり、リスクや不確定要素を含んでいることから、実際の業績は大きく異なる結果となることがあります。

それらのリスクや不確定要素の主なものは、以下のとおりです。

- ・ 主要市場（日本、アジア等）の経済状況、消費動向
- ・ エレクトロニクス産業の業界動向・技術トレンド等の変化
- ・ 当社の主要製品市場における需給の急激な変動
- ・ ドル等外国通貨の対円為替相場の大幅な変動

決算の概要

2026年3月期 決算のポイント

エレクトロニクス業界におきましては、生成A I 関連やデータセンター向けの需要が一段と拡大しており、その他の分野におきましても、長引いた在庫調整が概ね解消し、設備投資を中心に需要は回復傾向にあります。

当社においては、2024年9月30日付でルネサスエレクトロニクス株式会社との特約店契約終了による売上高減少と、2025年6月30日付で日本電気株式会社傘下の株式会社シミズシンテックの完全子会社化による売上増加が主な変動要因となりますが、結果として売上高は前期比で減収となりました。

利益面では、シミズシンテックによる増加に加え、前期はルネサスエレクトロニクス製品関連での廃棄損を計上していたことから、前期比で増益となりました。

決算概要 前期比

(単位：百万円)

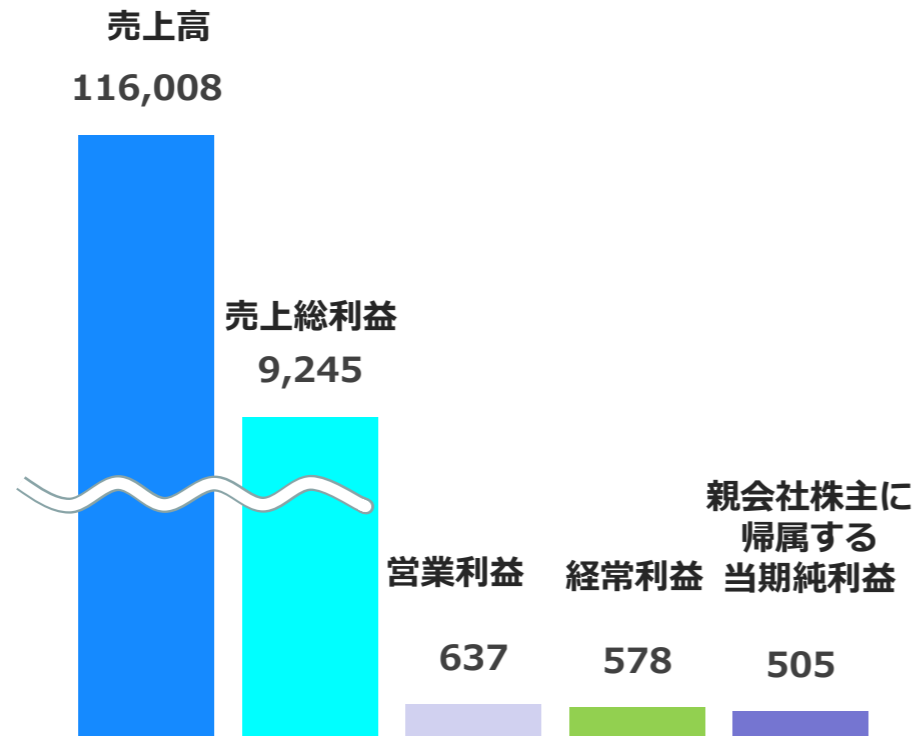
	前連結会計年度 2025年3月期		当連結会計年度 2026年3月期		前期比増減率 (%)	前期比 (金額)
売上高	116,008		99,113		▲14.6%	▲16,895
売上総利益	9,245		10,465		13.2%	1,220
販管費	8,608		9,263		7.6%	655
営業利益	637		1,201		88.5%	564
経常利益	578		1,555		169.0%	977
親会社株主に 帰属する 当期純利益	505		1,127		123.1%	622
1株当たり 当期純利益	15円75銭		38円72銭		-	22円97銭
1株当たり 配当金(年間)	中間 期末	7円50銭 8円00銭	中間 期末	6円00銭 12円50銭	-	-

連結損益計算書

(単位：百万円)

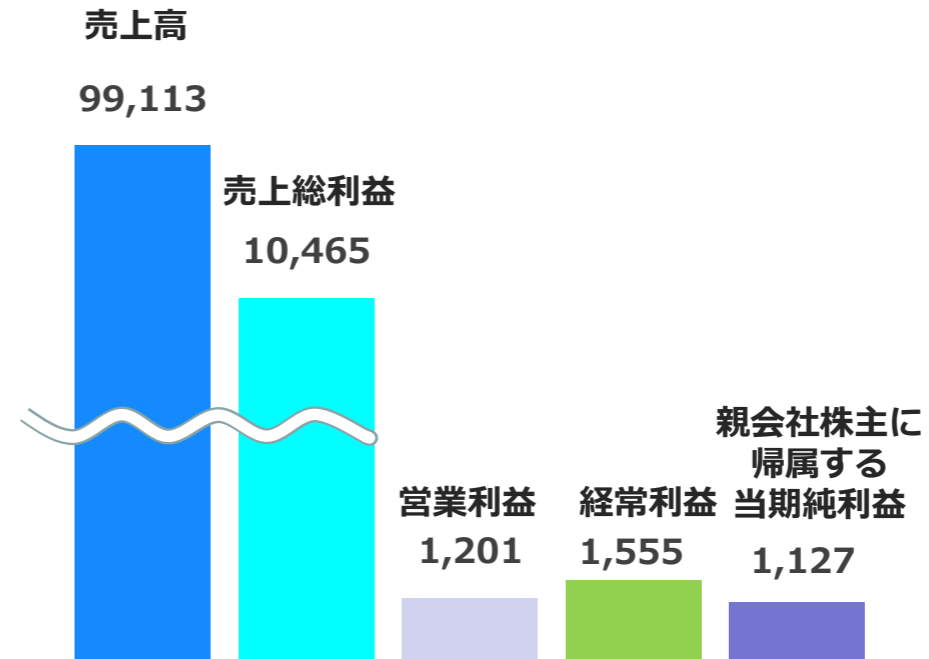
前期2025年3月期

(2024年4月1日～2025年3月31日)



当期2026年3月期

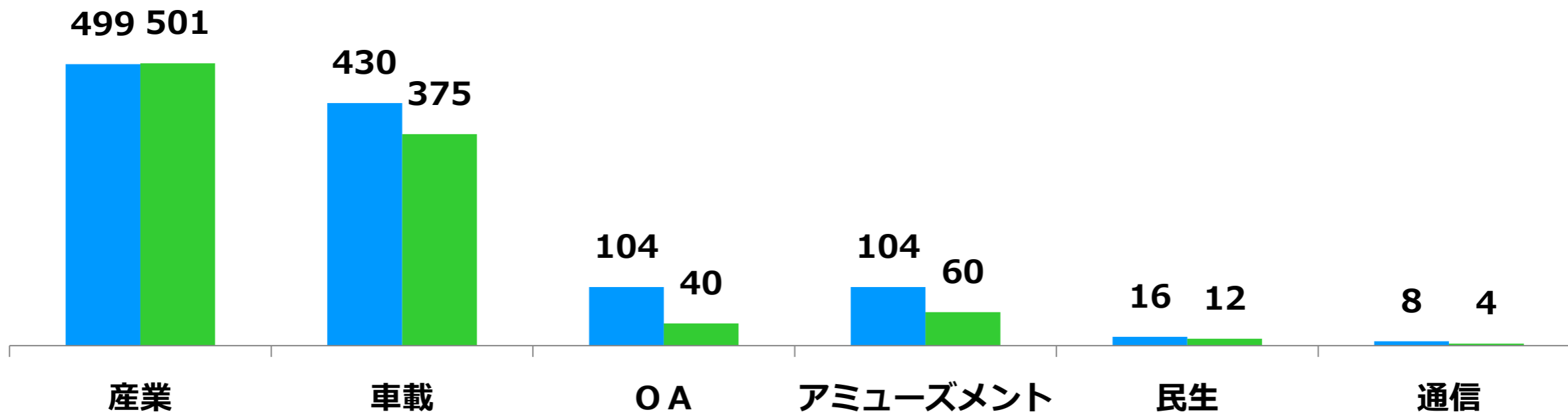
(2025年4月1日～2026年3月31日)



分野別売上構成（金額対比）

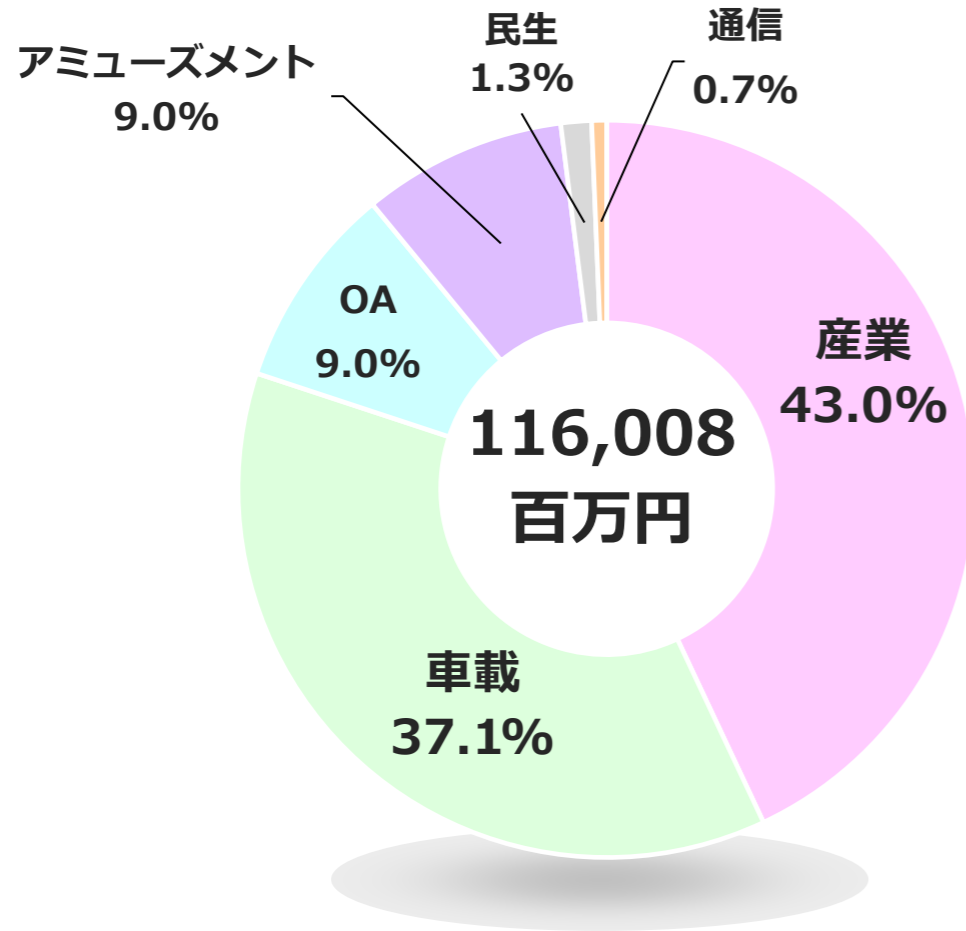
売上高：2026年3月期 991（▲169：前年同期比）（単位：億円）
2025年3月期 1,160

■ 2025年3月期 ■ 2026年3月期

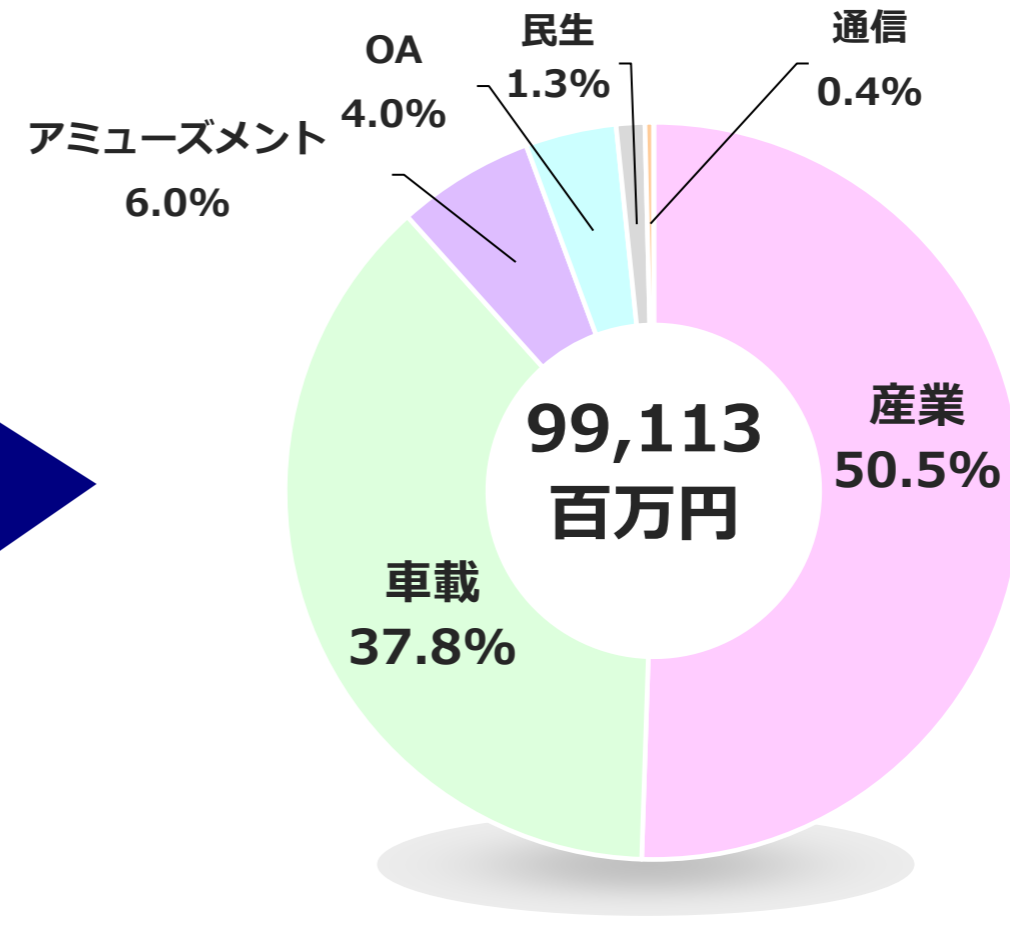


分野別売上構成

【2025年3月期】

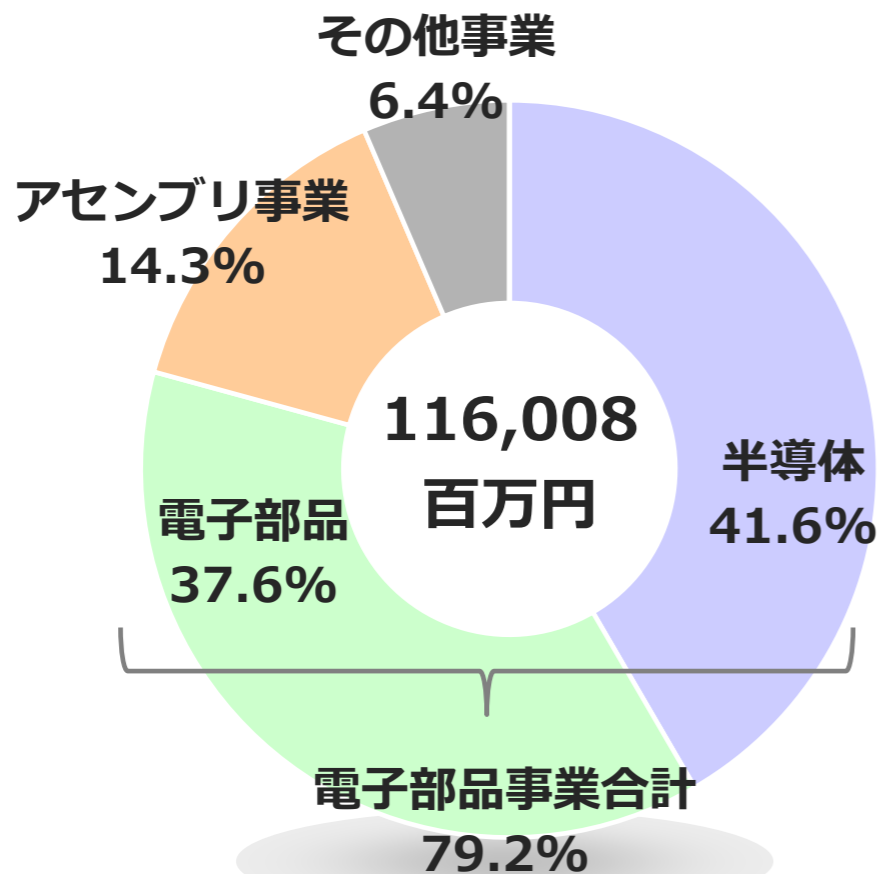


【2026年3月期】

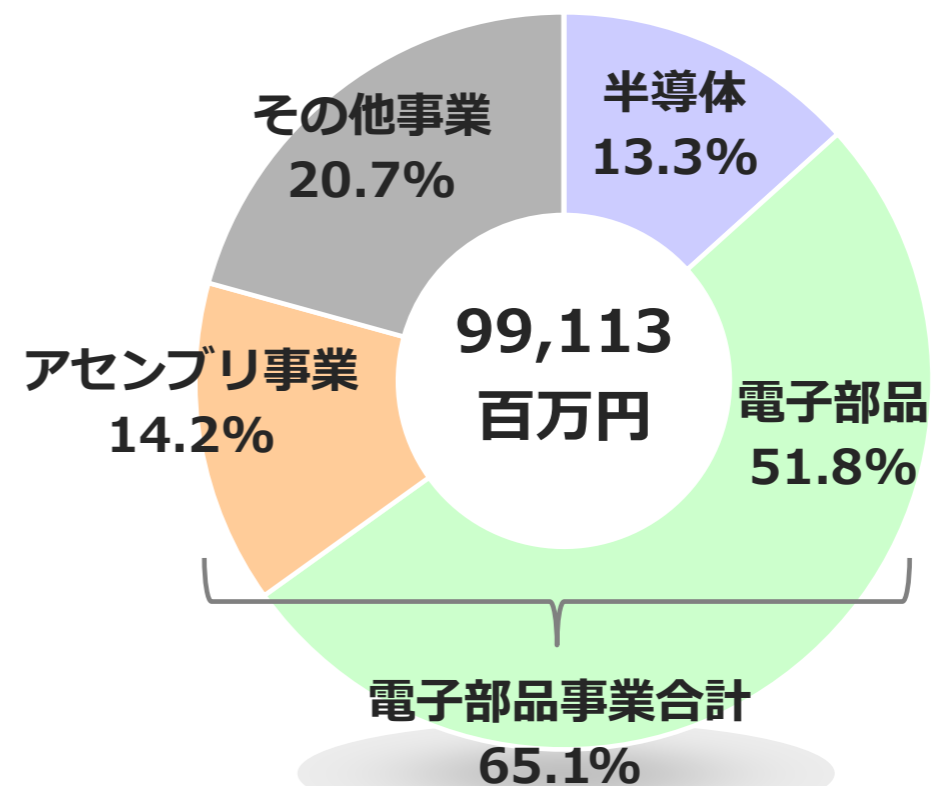


事業別売上構成

【2025年3月期】

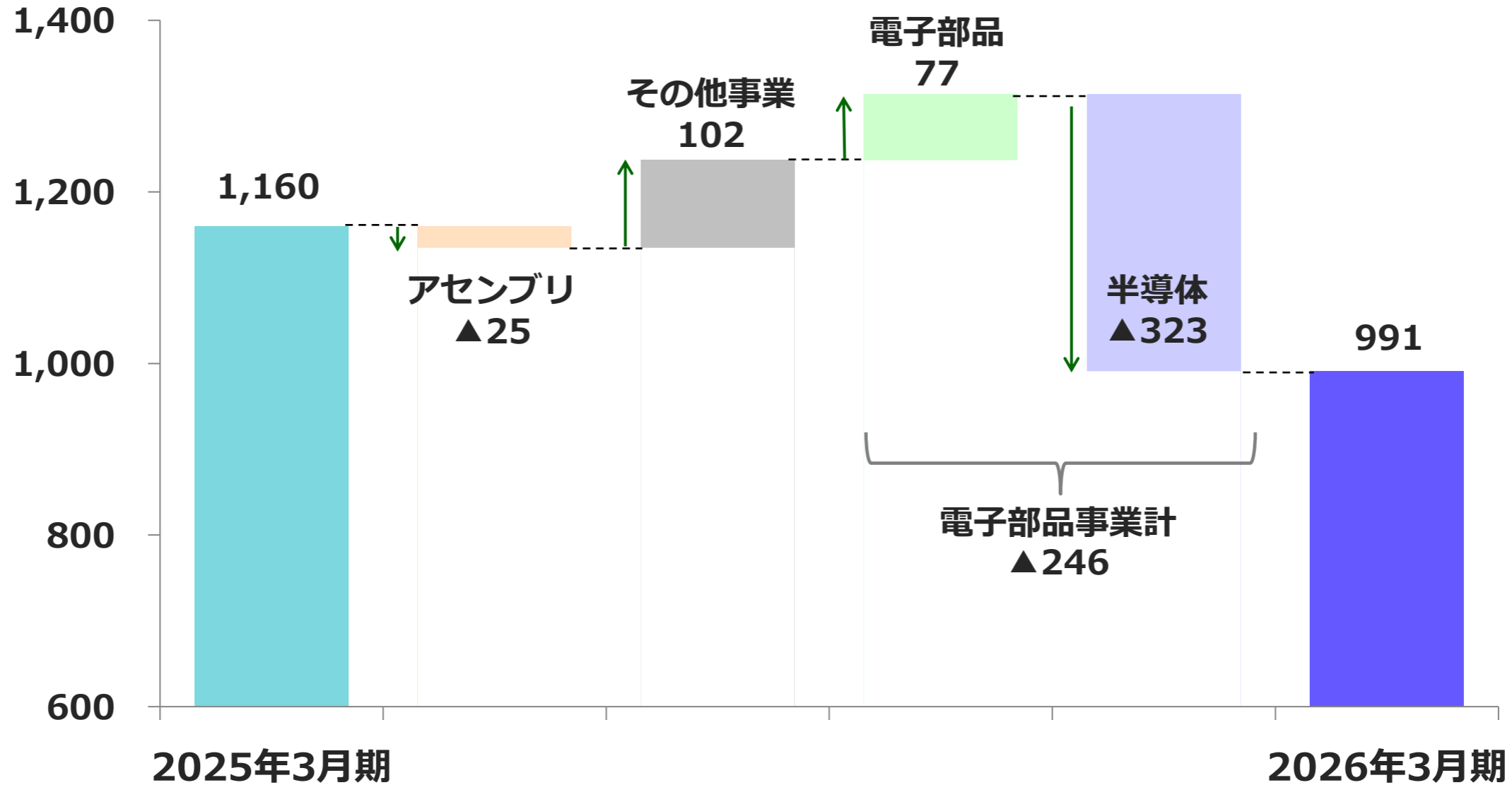


【2026年3月期】

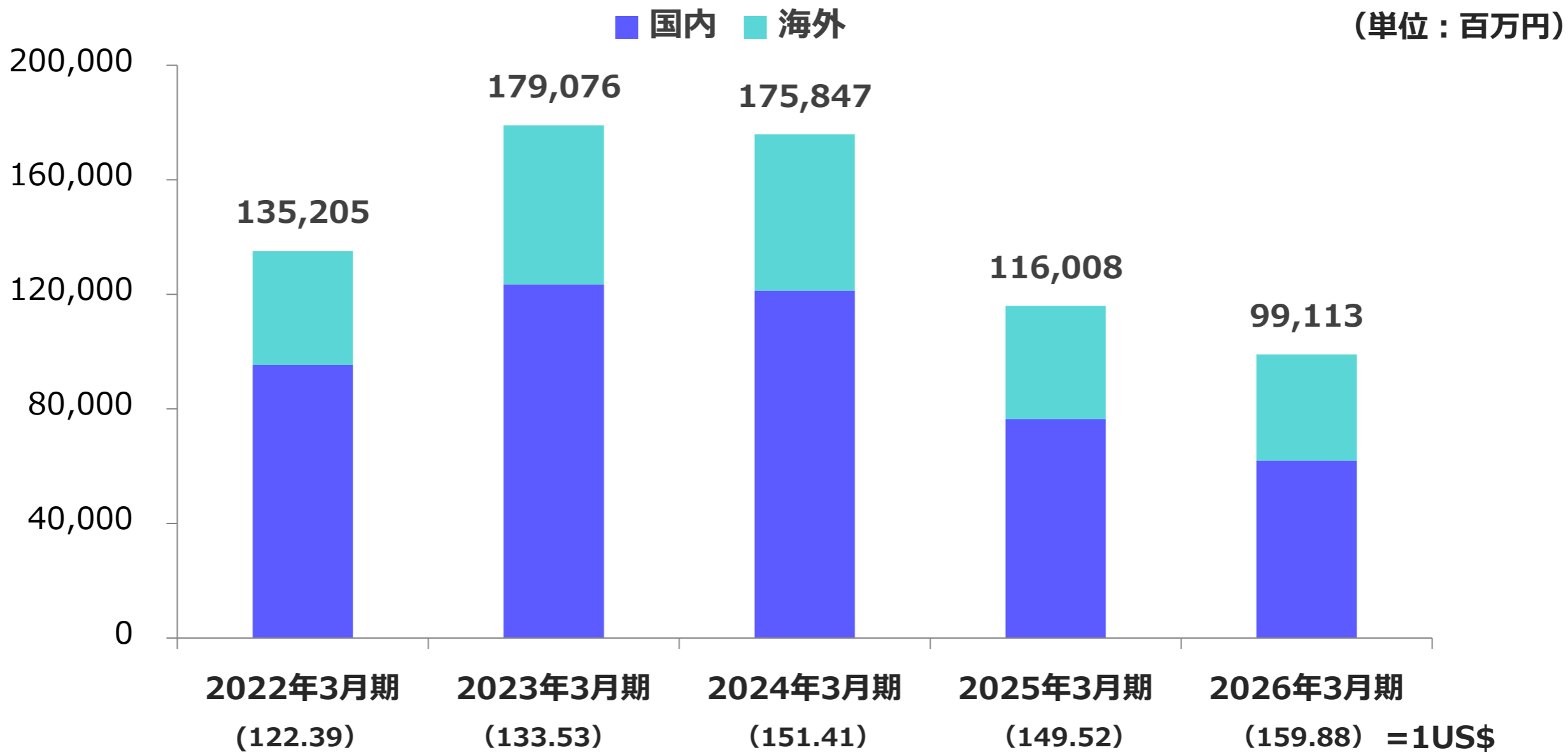


前期比 事業別売上増減

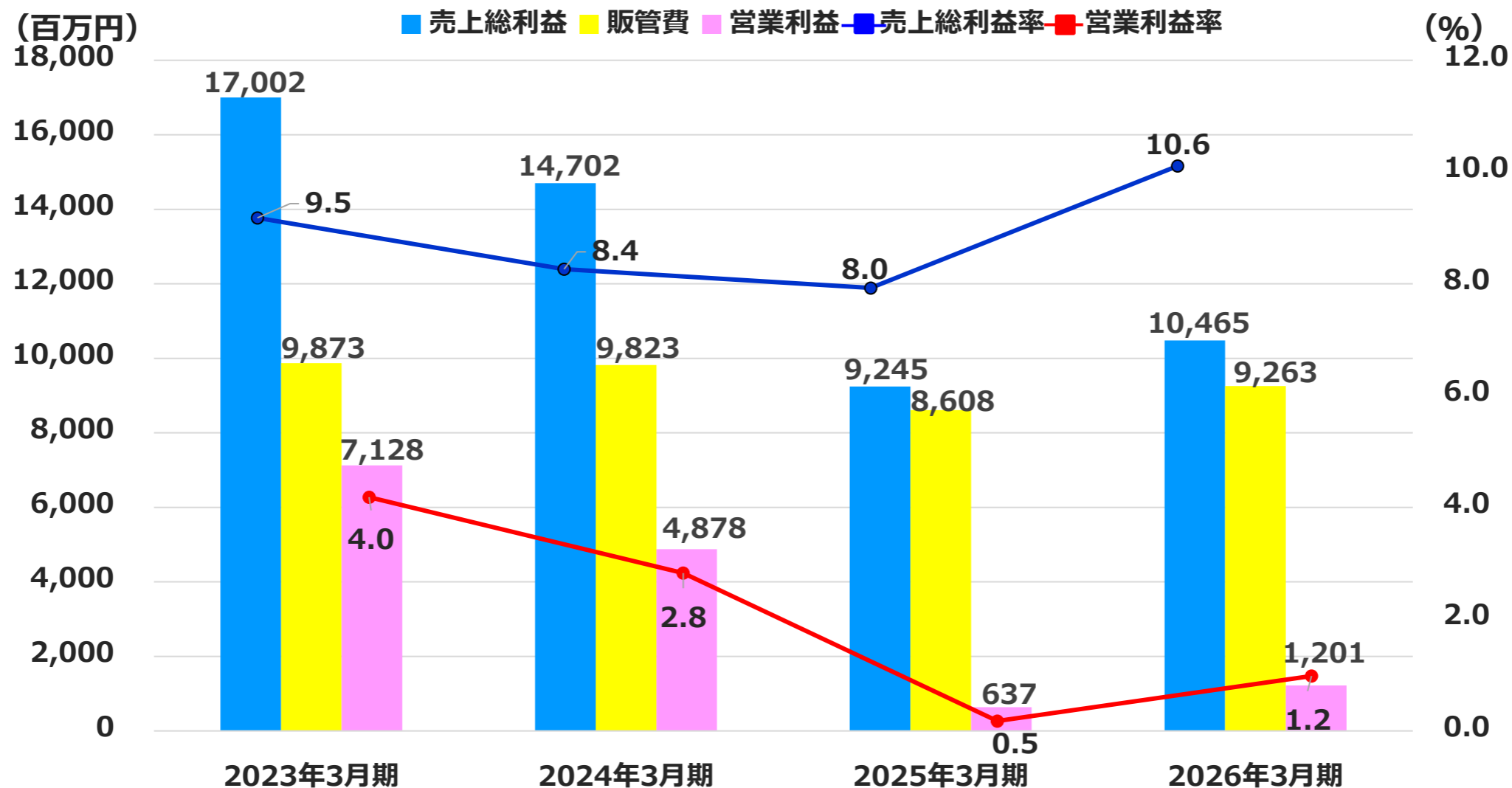
(単位：億円)



売上推移



売上総利益/営業利益/販管費 推移



要約貸借対照表① 資産の部

(単位：百万円)

	2025年3月	2026年3月	前期比
資産合計	80,051	80,796	
流動資産	71,517	69,772	▲1,745
現金及び預金	28,616	30,333	1,717
受取手形、売掛金及び契約資産	16,595	19,335	2,740
有価証券	2,995	-	▲2,995
商品及び製品	15,079	12,444	▲2,635
未収入金	7,865	6,238	▲1,627
その他	323	1,393	1,070
固定資産	8,534	11,023	2,489
有形固定資産	651	1,207	556
無形固定資産	103	1,613	1,510
投資その他の資産	7,779	8,202	423

要約貸借対照表② 負債・純資産の部

(単位：百万円)

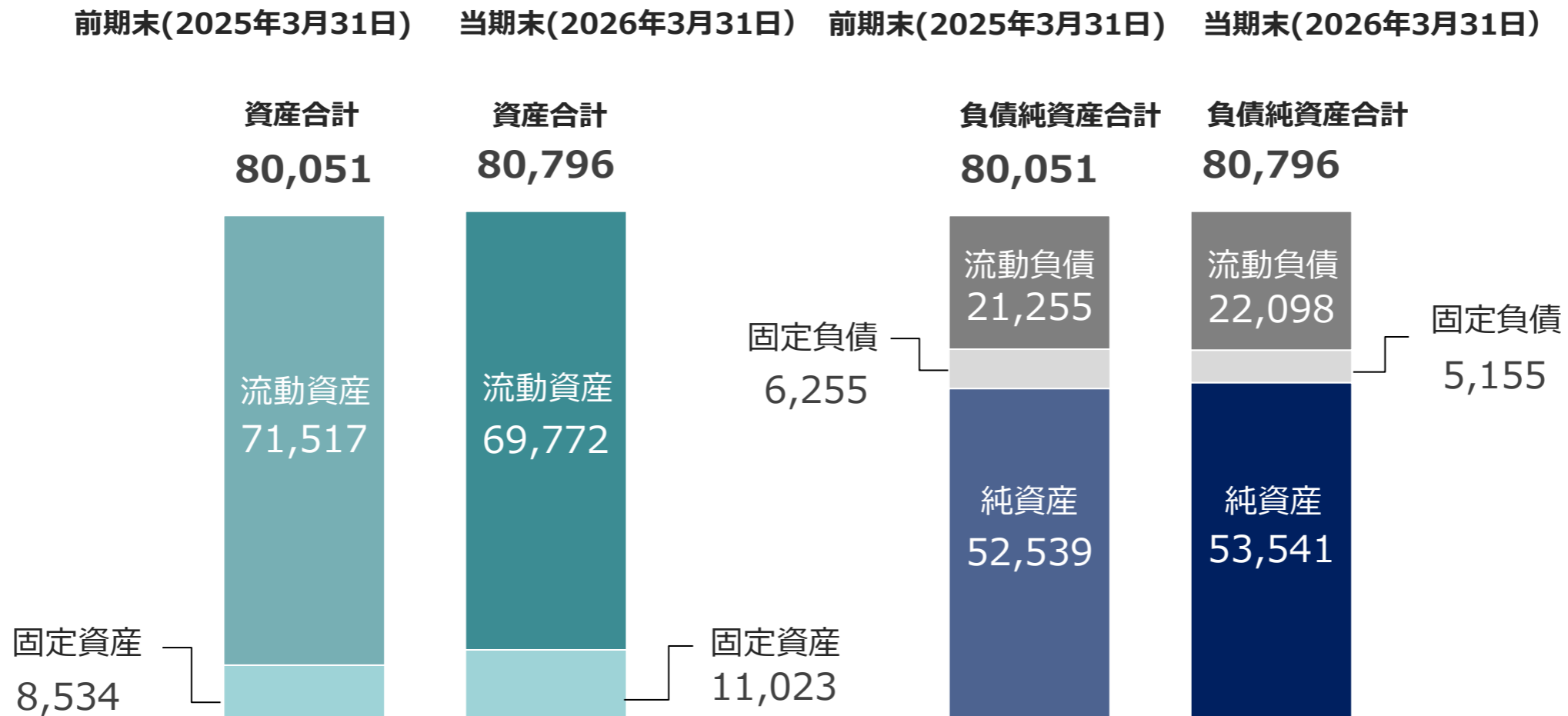
	2025年3月期	2026年3月期	前期比
負債合計	27,511	27,254	▲257
流動負債	21,255	22,098	843
支払手形、買掛金及び電子記録債務	13,582	14,353	771
短期借入金	2,270	1,000	▲1,270
1年内返済予定の長期借入金	3,500	2,800	▲700
契約負債	8	1,359	1,351
固定負債	6,255	5,155	▲1,100
長期借入金	4,300	1,500	▲2,800
純資産合計	52,539	53,541	1,002
資本金及び資本剰余金	19,117	19,100	▲17
利益剰余金	34,020	28,328	▲5,692
自己株式	▲7,431	▲2,249	5,182
負債 純資産 合計	80,051	80,796	745
(自己資本比率)	64.6%	65.2%	0.6%

連結貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部

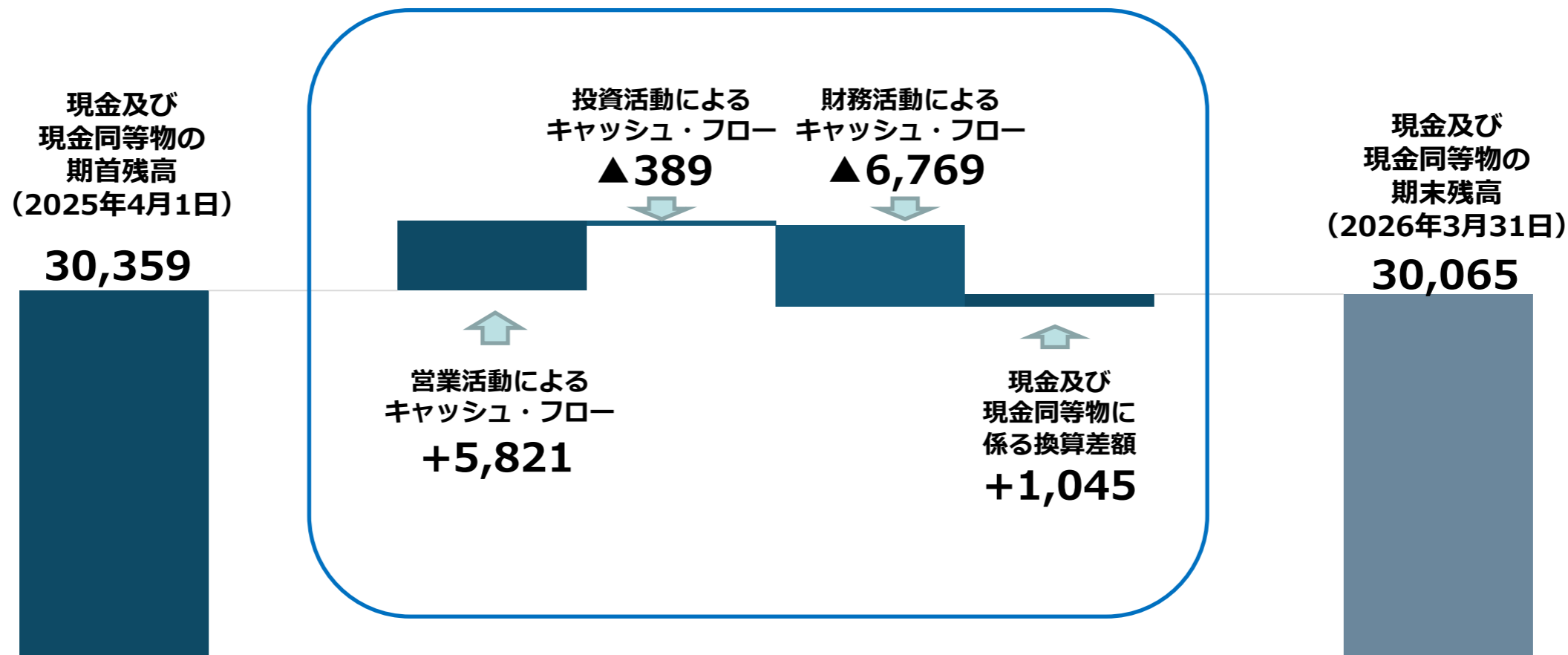
負債・純資産の部



連結キャッシュ・フロー計算書

当連結会計期間（2025年4月1日～2026年3月31日）

（単位：百万円）

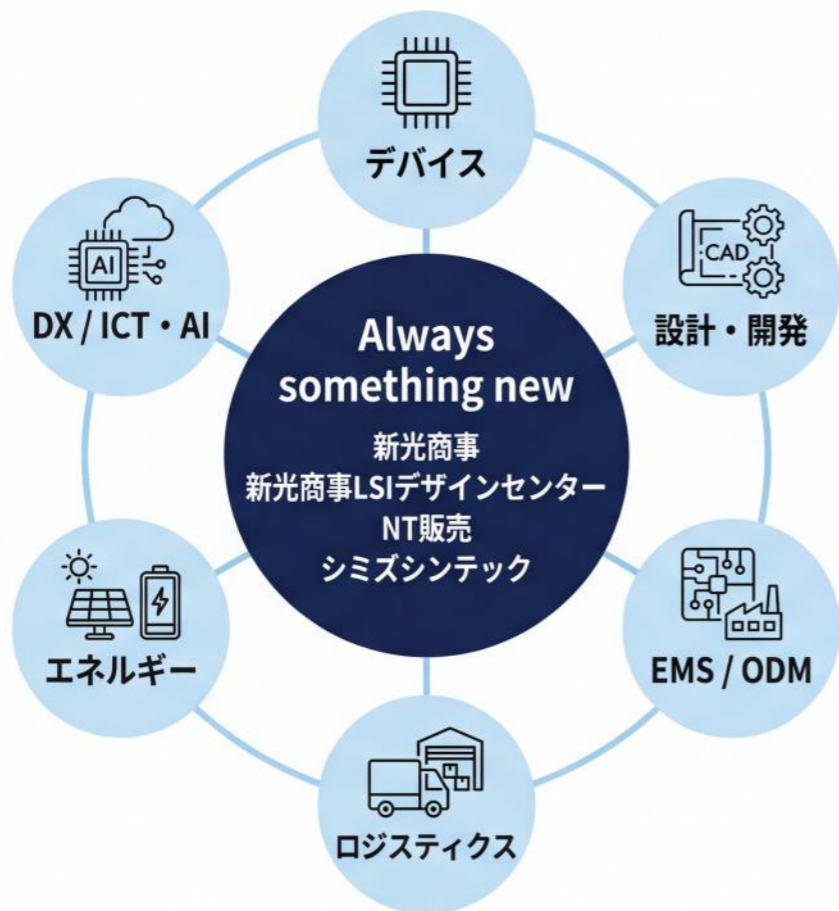


成長戦略

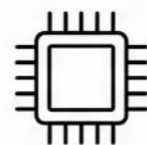
- ・ ソリューションビジネスの拡大
- ・ 新規コア商材の創出・拡充などによる新事業モデルの構築

ビジネス領域

新光商事は、お客様の成功のために、製品提供、最適物流提案はもとより、技術サポート、開発コーディネーション、EMS事業、海外展開等ご要望に合わせたビジネスソリューションをご提案いたします。
また、サービスを通して持続可能な社会の実現に貢献いたします。



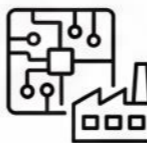
6つのビジネス領域 × 提供価値



デバイス
半導体・電子部品の
安定供給と最適調達



設計・開発
LSI設計・カスタム開
発の上流支援



EMS / ODM
設計から量産まで
ワンストップ受託



ロジスティクス
グローバル最適物流と
在庫管理



エネルギー
再エネ・省エネ
ソリューション提供



DX / ICT・AI
AI/IoT活用の
業務変革を伴走支援

進化の方向

新たに獲得した組織力を 新領域へ展開

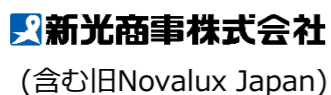
次頁以降で ご説明

新光商事グループは
シナジー創出を目指し
3つのレイヤーの事業を推進

IT



System



Device



新規

市場

既存

顧客に寄り添い 事業を創る テクニカルコンシエルジュ

- “新たなピース” で顧客の不足を埋める
 - ▶ 新規の顧客とメーカーを戦略的に増強
 - ▶ 既存組織間のシナジーを活用し新市場へ進出

未来の可能性に挑戦する バリュークリエイター

- デバイス取引に捉われない
“新たな業態” を模索する

半導体 電子部品の スペシャリスト

- 得意な領域で “事業基盤” を強化する
 - ▶ 重点ターゲットにフォーカス
 - ▶ マーケティング機能強化
 - ▶ グループ会社の連携シナジー

グループの知見を束ねる ソリューションプロバイダー

- “3事業” のシナジー最大化を目指す
 - ▶ IT ビジネス
 - ▶ System ビジネス
 - ▶ Device ビジネス

既存

組織能力

新規


テクニカル コンシエルジュ

シミズシンテック社の強みである IT / DX 課題解決実績を 新光商事 G r のお客様へ水平展開


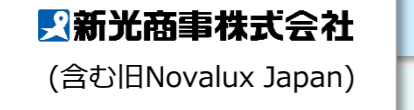
新規市場 既存能力	新規市場 新規能力
既存市場 既存能力	既存市場 新規能力

▼3レイヤー 活用


IT



System

Device





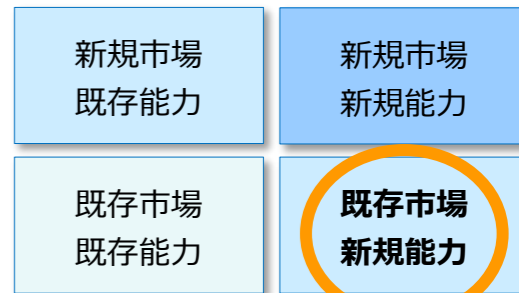
■ 保有許可 資格 認証 一覧

- 建設業許可
 - ・国土交通大臣許可 (特-6) 第19510号 [電気通信工事業]
 - ・国土交通大臣許可 (特-6) 第19510号 [電気工事業]
 - ・国土交通大臣許可 (般-6) 第19510号 [消防施設工事業]
- 保有資格
 - ・ 監理技術者 (電気通信・電気)
 - ・ 電気通信工事施工管理技士 (1級 2級)
 - ・ 電気工事士 (第1種・第2種)
 - ・ CATV総合監理技術者
 - ・ 陸上特殊無線技士 (第1級・第2級)
 - ・ 防災士
 - ・ 光ケーブルスペシャリスト
 - ・ 電気通信主任技術者 (伝送交換)
 - ・ 電気工事施工管理技士 (1級・2級)
 - ・ 土木施工管理技士 (2級)
 - ・ 工事担任者 (総合種・デジタル1種)
 - ・ 消防設備士
 - ・ 情報ネットワークプランナー
- 保有認証
 - ・ ISO9001認証
 - ・ ISO14001認証

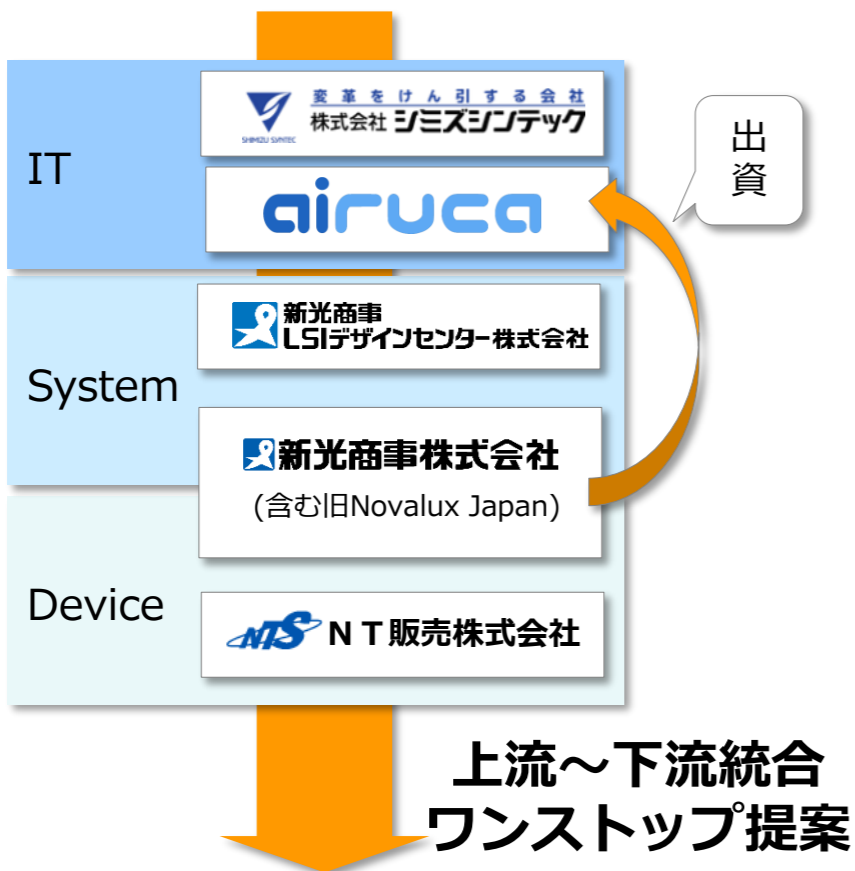
ソリューションプロバイダー

Novalux Japan吸収のシナジー

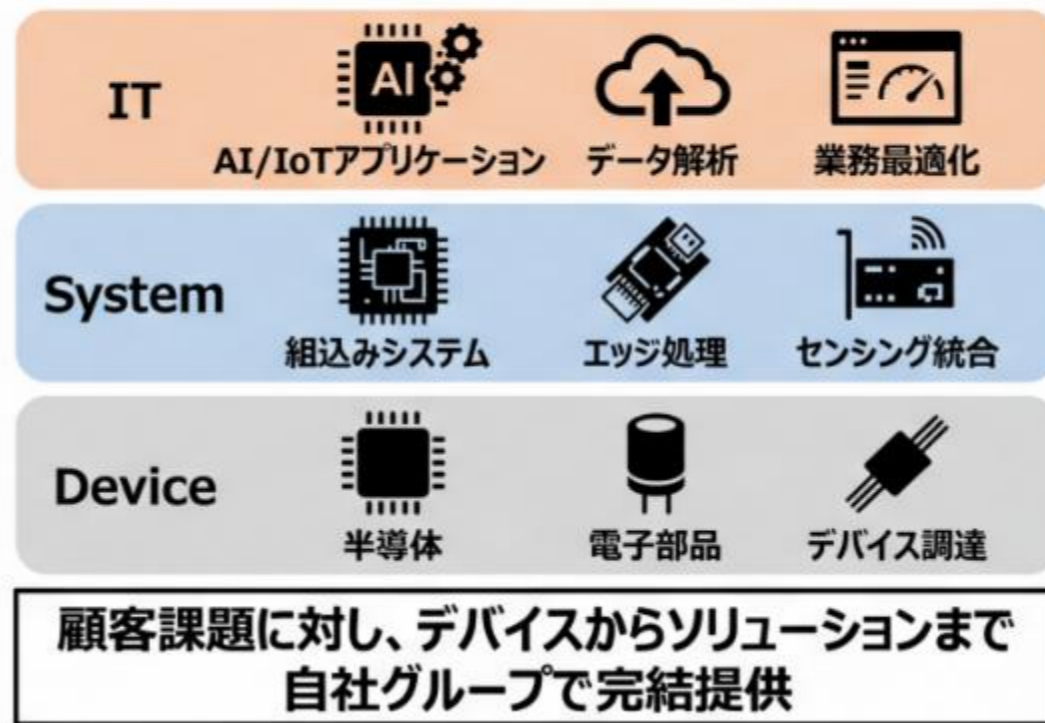
- AI・IoT需要の拡大を背景に、半導体・電子部品とシステム提供を一体化する体制を構築するため、グループ機能を統合し、事業拡大と企業価値向上目的に本合併を実施



▼3レイヤー 活用



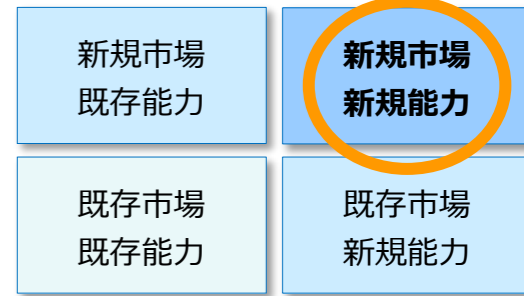
半導体・電子部品 × システム × AI/IoTソリューション 一気通貫提供体制



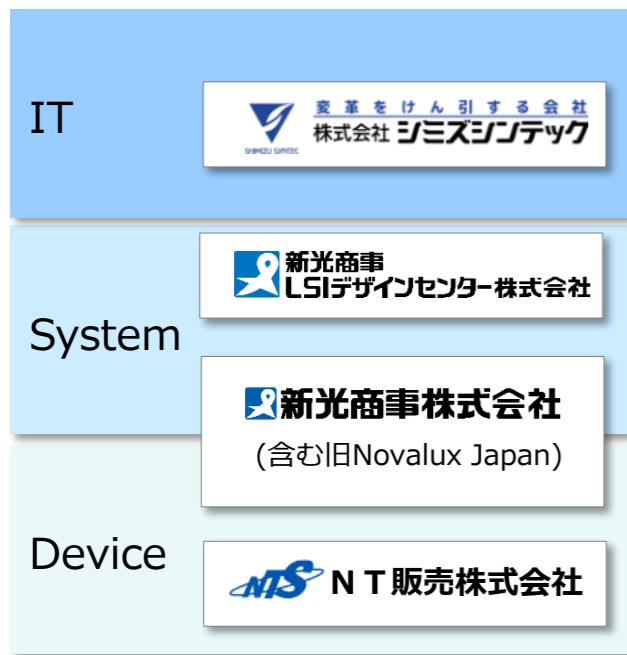
バリュークリエイター

シナジー効果を高め 新たな事業領域を拡大

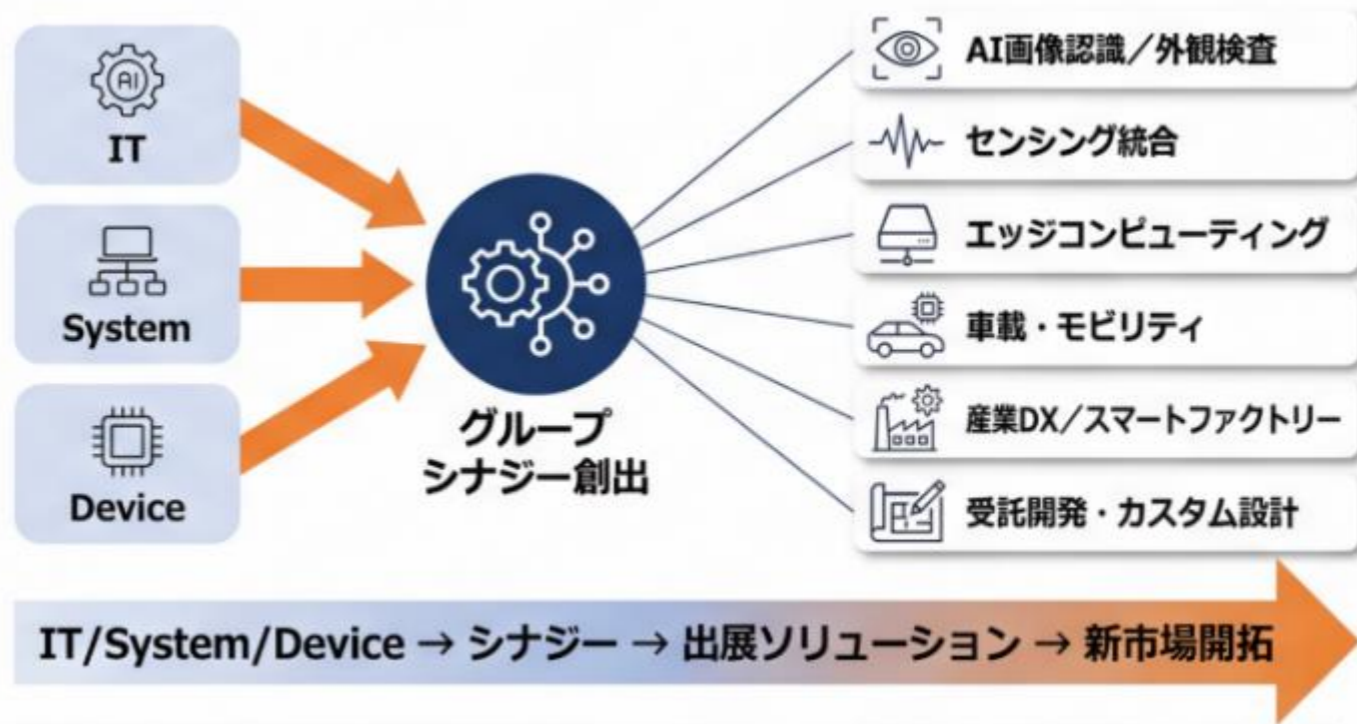
- Japan IT Week 2026春に
新光商事全Grにて共同出展



▼3レイヤー 活用



3レイヤーのシナジーから生まれるソリューション群



今期の見通しについて

2027年3月期の業績見通しと配当予想

● 2027年3月期の業績見通し

(百万円)

	2026年3月期 実績	2027年3月期 見込	前期増減率 (%)	前期比 (金額)
売上高	99,113	126,000	27.1%	26,887
営業利益	1,201	1,800	49.8%	599
経常利益	1,555	2,100	35.0%	545
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,127	1,400	24.2%	273

● 1株当たり配当金

配当につきまして、連結配当性向50%を目途に実施することを基本方針としています。

	2025年3月期 実績	2026年3月期 実績	2027年3月期 予想
第2四半期	7.5円	6.0円	12.0円
期末	8.0円	12.5円	12.5円
年間	15.5円	18.5円	24.5円
連結配当性向	98.4%	47.8%	50.0%

加賀電子による 当社株式に対する公開買付について

※2026年5月15日付開示文書「加賀電子株式会社による当社株式に対する公開買付けに関する意見表明に関するお知らせ」より引用

加賀電子株式会社による当社株式に対する公開買付け（TOB）の概要

2026年5月15日 当社取締役会にて「賛同の意見」を表明／応募の是非は株主の皆様のご判断に委ねる

公開買付の主要条件

公開買付者	加賀電子株式会社（証券コード 8154）
対象会社	新光商事株式会社（証券コード 8141）
買付価格	1,580円／株
買付総額	約459億円
買付予定数	29,097,599 株
下限	19,226,700 株
公開買付期間	2026年5月18日～6月26日（30営業日）
決済開始日	2026年7月3日（予定）

当社取締役会の判断

賛同の意見

本公開買付けの目的・条件は当社企業価値向上に資すると一定の合理性を認める

応募に対しては中立の見解

応募するか否かについては株主の皆様のご判断に委ねる

完全子会社化を前提

スクイーズアウトを経て上場廃止予定

本公開買付けに関する想定シナジー

加賀電子株式会社（公開買付者）

シナジー

新光商事株式会社（対象会社）

当社が考えるシナジー



仕入先の相互補完を通じた商品ラインナップの拡充



公開買付者の顧客基盤及びグローバルネットワーク活用によるエンドマーケット並びに海外販売先の拡大



公開買付者のグローバル製造網を活用したアセンブリ（EMS）事業の強化



ソフトウェア・AI・DX等の高付加価値領域における事業拡大



公開買付者と協働した採用活動及びグループ間の人材交流による組織体制の強化

本公開買付けに関する今後のスケジュール



本スケジュールの前提

- ・本スケジュールは2026年5月15日付開示文書に基づく現時点における想定です。
- ・関係当局の許認可・株主応募状況等により、変動する可能性があります。

上場廃止に関する記載

- ・本公開買付け成立後、当社株式は株式会社東京証券取引所の上場廃止基準に従い、所定の手続を経て上場廃止となる予定です。
- ・上場廃止の具体的な時期については、現時点では未定です。

連絡先

新光商事株式会社

常務取締役 一色 修志

E-mail: ml_info@st.shinko-sj.co.jp

問い合わせ先 : <https://shinko-sj.co.jp/inquiry/ir/>

住所 : 〒141-8540

東京都品川区大崎 1-2-2

アートヴィレッジ大崎セントラルタワー13階

HP: <https://www.shinko-sj.co.jp/>